



New Vision

地域連携情報誌

vol.42
2023年5月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます

医療DXの推進と 地域医療構想の実現



加古川中央市民病院 院長補佐(医療のデジタル化担当)
(兼)診療部 放射線診断・IVR科 主任科部長
(兼)がん集学的治療センター 放射線療法室室長 (兼)医療安全管理部 医療安全推進室

な か む ら て つ
中村 徹

平素より病院の運営に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2022年6月にいわゆる「骨太方針2022」が閣議決定され、医療分野では医療DXの推進が明確になりました。DXとはdigital transformationの略でデジタル化により組織変革を行うことです。

一方、2040年を展望した医療提供体制の改革に先がけて、2025年を目指した地域医療構想の実現に向けた三位一体の取り組みとして、情報ネットワーク整備の整った地域医療構想の実現、医師・医療従事者の働き方改革、タスクシフトの推進、少子高齢化、人口減に伴う医療人材の不足、医師偏在問題を克服していかなければなりません。

当院におけるDXの推進の事例ですが、2023年3月に胸部単純写真AIを導入し、結節・腫瘤影、浸潤影などの見落とし防止に大いに貢献しています。医療安全を重視した既読管理システムの導入も現在検討中です。医療ロボットは職員の業務の効率化に寄与しています。また、医師会主導で実施している地域連携BOXの活用、HumanBridgeを用いた地域医療ネットワークの拡大も実現しています。放射線診断・IVR科では既に複数の病院間との遠隔画像診断を展開し、人材と業務を集約するマグネット化を実現しています。iPadを用いた遠隔画像診断によりIVR適応の判断が自宅でき、手技開始までの時間短縮、治療戦略事前準備にも活躍しています。同時に子育て世代などを対象とした働き方改革の一環として、感染拡大期の業務分散目的にテレワーク制度も実施でき、医師の負担軽減に寄与しています。

これからの病院の在り方は、これまでの自院完結の競争の時代から、地域で完結する協調の時代に変遷することを余儀なくされます。そして2040年の医療提供体制を見据えて、どこにいても必要な医療を最適な形で受けられるようになっていなければなりません。そのためには医療機能の集約化した基幹病院を軸に、かかりつけ医が役割を発揮できるための地域医療連携や、適切なオンライン診療の実施を目指していかなければなりません。

当院は今後も医療DXを推進し、質の高い、安全で効率的な医療を目指しています。そして地域連携をさらに拡充し、地域住民の健康を支え、頼られ続けるよう尽力していきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

2023年度新任医師一覧



所 属	氏 名	役 職 名
総合内科	香山 元伸	専 攻 医 (3)
消化器内科	平川 博章	専 攻 医 (3)
	武田 達朗	専 攻 医 (1)
循環器内科	今田 宙志	医 長
	中村 公一	医 長
	黒田 周平	専 攻 医 (1)
	石見 広大	専 攻 医 (1)
	福井 一弘	専 攻 医 (1)
	辻井 克弥	専 攻 医 (1)
	石川 結美子	科 副 部 長
呼吸器内科	浅野 真理	
	坂田 悟郎	専 攻 医 (1)
	黒川 晟	
糖尿病・代謝内科	工藤 真人	専 攻 医 (2)
	北村 雅和	専 攻 医 (2)
	一ノ瀬 祐人	専 攻 医 (1)
	松山 裕	専 攻 医 (1)
リウマチ・膠原病内科	向江 翔太	
腎臓内科	泉 昂佑	専 攻 医 (2)
	島谷 佳光	科 副 部 長
脳神経内科	岩本 宗矩	専 攻 医 (2)
	堀本 隼人	専 攻 医 (2)
精神神経科	河南 幸乃	
	上杉 裕紀	
	田中 元	専 攻 医 (2)
	石川 達大	専 攻 医 (1)
	森信 苑子	専 攻 医 (1)

所 属	氏 名	役 職 名
小児循環器内科	近藤 亜耶	
外科	渋谷 尚樹	医 長
	増田 蒼	専 攻 医 (1)
	服部 寛之	専 攻 医 (1)
	西川 大志	専 攻 医 (1)
	辻 泉穂	専 攻 医 (1)
乳腺外科	橋本 岳史	専 攻 医 (3)
心臓血管外科	草木 迫 充	専 攻 医 (1)
呼吸器外科	川端 直樹	専 攻 医 (1)
小児外科	鶴野 雄大	
整形外科	柴田 洋作	医 長
	倉科 徹郎	
	戸田 誠也	
	葛原 慎	
形成外科	山城 憲二郎	
眼科	厚見 知甫	医 長
耳鼻咽喉科	遠藤 侑未	専 攻 医 (2)
皮膚科	岩平 紘佳	
産婦人科	熊谷 美咲	専 攻 医 (2)
	清水 香陽子	専 攻 医 (2)
泌尿器科	川原 悠衣	専 攻 医 (1)
麻酔科	辻本 健志	専 攻 医 (3)
病理診断科	井上 英軌	専 攻 医 (2)
救急科	野坂 英樹	科 副 部 長

臨床研修医の紹介



つ ゆ な お と 栗花落 直人 神戸大学たすきがけコース
 お お み ね た く み 大 嶺 拓海 神戸大学たすきがけコース
 ほ そ や り ょ う 細谷 諒
 い し も と こ う 石本 耕
 あ か ひ で ち か ら 赤秀 力
 は た み こ と 畑 尊人
 さ か た ま り こ 坂田 麻里子
 は し み の り 林 実乃里
 か け が み た か ひ ろ 懸上 貴大
 お だ ぎ み ず き 小田木 瑞樹 神戸大学小児科医育成コース
 ま つ ざ わ た い き 松澤 大輝
 こ し ま り か こ 小嶋 莉加子
 な か や ひ な こ 中矢 白奈子
 た か し ま か な こ 高嶋 香菜子
 ほ り ま よ 堀 真世 神戸大学小児科医育成コース
 な か に し ま ほ 中西 真帆
 な か ぐ ち ゆ み 中口 祐美 神戸大学たすきがけコース



新入職医師よりメッセージ



循環器内科

医 長 今田 宙志

循環器内科の今田と申します。

私の専門は不整脈分野となります。ペースメーカーやICDなどのデバイス植込みや、カテーテルアブレーションによる不整脈治療を専門としております。

どうぞよろしくお願い致します。



循環器内科

医 長 中村 公一

医師10年目の中村公一と申します。診療科は循環器内科、専門としては虚血分野を担当しております。加古川地域の医療の一助となれます様、尽力いたしますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科

科副部長 石川結美子

4月より勤務させて頂くことになりました呼吸器内科の石川です。専門分野は呼吸器全般で、呼吸器内科の外来や救急外来等を担当しております。地域の皆様の医療に貢献できるように努めます。宜しくお願い致します。



脳神経内科

科副部長 島谷 佳光

脳神経内科に赴任致しました島谷佳光と申します。電気生理検査を専門としています。コモンな訴えである、痛み、しびれ、脱力には電気生理検査が有用です。画像診断では悩む例もしばしば経験します。ご紹介下さい。

外科

医 長 渋谷 尚樹

令和5年4月より赴任いたしました渋谷尚樹と申します。10年ほど前ですが加古川西市民病院、加古川東市民病院にて4年間の勤務経験があります。一般外科、消化器外科を広く担当し低侵襲手術である腹腔鏡手術も積極的に行っております。患者さんのご負担が少なくなるような診療を心がけています。宜しくお願い致します。



整形外科

医 長 柴田 洋作

整形外科は、骨・関節や筋肉など体を支える部分（運動器）に生じる疾患を取り扱う診療科です。手術だけではなく装具、運動療法や投薬などの保存治療による治療も行っています。骨折など外傷性疾患を中心に専門分野として地域医療機関の皆さまのお役に立てれば幸いです。



眼科

医 長 厚見 知甫

7年前にも当院で勤務させていただき、地域の先生方、各関係者の方々には大変お世話になりました。

この度改めてご縁があり、4月より着任いたしました。専門分野は眼科一般を担当いたします。よろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科

科部長 井之口 豪

前任の神戸大学では内視鏡下鼻副鼻腔手術や好酸球性副鼻腔炎の診療を専門に行っておりました。当院では慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎に対する中耳手術も担当しています。耳や鼻の症状でお困りの患者さんがおられましたら、ご紹介をよろしくお願い申し上げます。



増築レポート

1月



躯体工事（ピット部・マットスラブ部）及び鉄筋組立・型枠建込・コンクリート打設を行っています。



昨年12月に組み上がった大型クレーンです。今後1年間、現場で使用する各種材料の移動や荷揚げ等で活躍します。

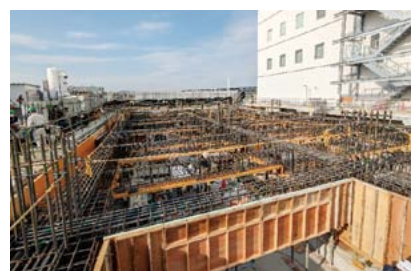
2月



躯体工事（免振上部・1階）及び鉄筋組立・型枠建込・コンクリート打設を行っています。



免振装置を据え付ける作業をしています。この装置を設置することで、地震の揺れを吸収します。



1階梁の鉄筋と型枠を組んでいます。鉄筋を組み終わり型枠を建込んだのち、コンクリートを打設します。

3月



躯体工事（1階上部）及び鉄筋組立・型枠建込・コンクリート打設を行っています。



リニアック遮蔽鋼板据付状況
放射線が外部に漏れないようにコンクリートの壁厚を大きくして、内部に分厚い鋼板を何重にも重ねて設置します。最終的には、リニアック室の壁と天井に265tの鋼板を使用します。

4月



リニアックの天井部の鋼板を据付しています。



この上に天井マットスラブ上端筋を配筋するところです。



上端筋を配筋後、コンクリート打設しています。

工事期間中は何かとご迷惑をお掛けすることになりますが、何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

けい整形外科クリニック

診療科：整形外科／リハビリテーション科／リウマチ科

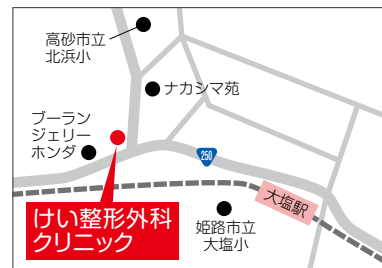
当院は、高砂市北浜町で先代院長が昭和53年開院以来、40年以上地域の皆様に支えられ医業を行ってまいりました。この度、令和5年4月より医院名を「中村整形外科」から「けい整形外科クリニック」に変更し継承することになりました。

当クリニックでは、地域の皆様のため、皆様に親しみやすく、気軽に来院していただける医療をこころがけて



院長 中村 圭 先生

おります。現在、理学療法士2名、作業療法士1名の計3名でリハビリを行っております。運動器リハビリを行っており、4月より訪問リハビリテーション、5月より通所リハビリテーションを開院いたしました。外来では、患者様との対話とわかりやすい説明を大切にすることが正確な診断と治療のため重要と考えております。患者様の痛みや辛さが少しでも緩和できるよう、一緒に考え皆様の健康のお役にたてればと思っております。是非、お気軽にご相談ください。



所在地：高砂市北浜町西浜1208-75

駐車場台数：17台

TEL.079-254-5533

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 4:00～7:00	○	○	○	—	○	—	—

※休診日：木曜午後、土曜午後、日祝

登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応えていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させて頂いております。

登録医の先生方には、

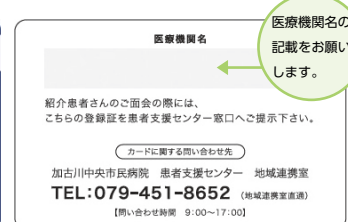
- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

患者面会のご案内

当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
- 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
- 3) 病室に入られる際には、ご持参頂いた登録証を面会カードに入れていただきます。

※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応します。ご面会できない場合もありますのでご了承ください





地域連携セミナーの御礼

2023年3月30日に、地域連携セミナー第2弾を開催致しました。多数ご参加頂きましたことを改めて御礼申し上げます。講演では、症例をもとに当院から転院、在宅療養へと引き継いでいくプロセスと、かかりつけ医の先生方に繋ぐ流れについてご説明させて頂きました。限られた時間ではありましたが、意見交換もでき、今後の連携を深める機会となりました。今年度も、地域医療・介護福祉職の方々との連携を深める会を企画していきたいと考えております。よろしくお願い致します。



新体制の挨拶



患者支援センターは、2023年4月から新たなメンバーを加えて新体制でスタート致しました。

今後も皆様から信頼され、より地域の医療機関、介護関連施設と密接な関係が築けるように日々努力致します。

更に、身近な存在となる患者支援センターを運営していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

